

HACHIMAN
Kawara-ban
HONOBONO-Tsushin

八幡堀と町衆の430年の道のり

八幡堀界隈 瓦かわら版

2018 Vol.39

知って得して、見て得して、町の歴史

手漕ぎ和舟

ご予約は
0748-36-5115

情緒ある手漕ぎ和舟でゆったり
船頭がご案内する八幡堀めぐり

近江八幡開町の祖「豊臣秀次」と「八幡商人」

【瓦仁】寺本仁兵衛 多賀町

寺本家の「過去帳」には、「瓦仁 寺本仁兵衛」と称して製瓦を始めたのが八幡に於ける寺本家の祖で、当時の記録も残されています。「八幡瓦」の起源は、『豊臣秀次』が「八幡山城」築城天正13年（一五八五）のさい、この地に瓦工が招聘（しょうへい）され、それが初めと言われていますが、八幡山城や秀次居館に使用された屋根瓦も、或は寺本家の窯（かま）で焼かれたものかも知れませんが、証する記録は見だしていません。更に有力な説として、北元町にある、安土城の城下町から移築した大寺院「本願寺八幡別院」の屋根葺き工事に伴い、京都より「寺本家」を始めとした多くの瓦工が移住したというものです。ここに「八幡瓦」の起源とも云えるでしょう。寺本家には元禄十三年（一七〇〇）銘の鬼瓦がありますが、最も活気があり極めたのは化政期頃と推定され、その当時の在銘瓦は多数残っており、江戸末頃の当主は鬼瓦以外に美術裝飾的なものや、信仰的な作品も制作し、これらの瓦製品に部分着色した作品も多く残っています。



北元町 本願寺八幡別院

豊臣秀吉が伏見の桃山城を築城した際に、播州より山城国伏見深草村瓦町に移住した初代寺本甚兵衛の子「仁兵衛」が八幡多賀村に移りました。多賀村周辺の北ノ庄地区には良質の粘土が産し、八幡堀に接して舟運が開け、更に八幡山、北ノ庄山に隣接し、燃料の需要も容易なため、この地が選ばれたのかも知れません。一般に屋根瓦が用いられたのは江戸末期頃からといわれており八幡瓦は、田から採れる良質の土を原料としていました。採土は、八幡周辺の北之庄、大房、牧、などの村々で、ほとんどが農業の傍ら兼業として行われていたようです。瓦土の採取は、手作業の労働で、日中の太陽を避けて朝の三時から四時ごろに田から土を採取したといわれています。家瓦が八幡の地場産業として名声を博したのは、冬期に凍えず長持ちするという特色のためで、それは良質の粘土選択と入念な手仕事による仕上げ、窯の中で三日三晩松割木で燻された独特の光沢による格調高い製品のためでありました。製品は八幡堀から舟で積出され、琵琶湖から疏水を通って京阪方面へ、或は北陸、山陰方面へ搬出されてきました。

この多賀村の瓦工たちは、文政七年（一八二四）に「多賀村余内浜組異町太子講」を結んでおり、「聖徳太子講相統定事」という取り決めにより、七軒の名前が書かれています。瓦屋九兵衛、瓦屋伝兵衛、瓦屋仁兵衛、瓦屋庄助、瓦屋平四郎、瓦屋吉兵衛、小松屋与左衛門です。現在確認できる瓦銘などによって、活動していた時期がさかのぼれるのは、先の寺本家のほか宝暦八年（一七五八）の前田平四郎、明和二年（一七六五）の和田吉兵衛、天明元年（一七八二）の西村九兵衛で、この定書には連署していませんが、文化二年（一八〇五）の多賀村福井伊兵衛の名の入った瓦も確認できることから、福井家も瓦工として活動をしていました。

しかし寺本家の主は十五代目で戦後伝統ある家業を廃業されました。



多賀町 寺本邸（かわらミュージアム横）

※参考文献 近江八幡人物伝 近江八幡郷土史会刊/近江八幡の歴史 匠と技 近江八幡市



かわらミュージアムは、平成7年に近江八幡市が、地場産業である八幡瓦の普及と先人の技術や知恵を後世に伝え、町づくりの拠点として生かしていくために建設されました。（寺本家 かわら工場跡地）

瓦と八幡を考えると、開祖豊臣秀次が築城した八幡山城を抜きには語れません。豊臣秀次居館跡より出土した金箔瓦や軒丸瓦を展示しております。八幡山城を築城した際、整備した八幡堀を利用して、瓦の製造も栄えました。江戸時代八幡瓦で葺かれた寺社は市域だけでなく、他所にも多く見られます。江戸時代の鬼瓦や瓦人形から当時の職人の技術、芸術性の高さをご覧ください。

正面玄関脇の頭上には、雲の上を行く「かぐや姫昇天の絵図」、中庭の頭上にははだれ桜に花を咲かせる「花咲かじいさん」（裏には「花咲かばあさん）」、「行きはよいよい帰りはこわいの道」（道具室前の通路）の突き当たり（収蔵庫入り口）には、「人呑鬼（人を食う鬼）」、この通路中央頭上には、「お雛様とお内裏様の相合傘」。このように一見迷路のような小道にもお楽しみがいっぱいです。館では、『かわらミュージアムキャラクター鬼っちゃんの「かわらミュージアムでさがしてみよう」』というパンフレットを作り、お子様たちにちょっとした探索ゲームを楽しんでいただけます。

かわらミュージアム

さがしてみよう!

昔話の主人公たちが
かわらミュージアムで待っているよ!

赤鬼もいっしょ
鬼っちゃん



正面入口



展示室

町のお宝を再発見!

◆近江八幡市立資料館（郷土資料館・歴史民俗資料館）一部4月リニューアル

◆旧西川家住宅（西川利右衛門邸）



資料館正面



展示場とイベント広場



コワーキングスペース

郷土資料館は、西村太郎右衛門邸跡地に明治19年（1886）に八幡警察署として建設され、昭和28年（1953）ヴォーリズ建築事務所の設計で現在の形になり、昭和49年（1974）に資料館として開設され、昨年よりリニューアル工事を行い本年4月にオープンしました。

歴史民俗資料館は、江戸時代末期の民家で当時の生活ぶりを再現しています。

旧西川家住宅は、八幡商人の豪商、西川利右衛門（理右衛門）の11代が没した後、分家の西川庄六家より市に寄贈されました。昭和58年重要文化財に指定され、宝永3年（1706）当時に復元修理されました。また、3階蔵は330年前の建築で全国的にも珍しいものであります。



土蔵



旧西川家住宅



新町通り旧西川家住宅

◆入館料：近江八幡市立資料館 3館（郷土資料館・歴史民俗資料館）、旧西川家住宅、かわらミュージアム

〔3館共通入館券〕	一般 500円	小・中学生 250円
〔4館共通入館券〕	一般 700円	小・中学生 350円
・近江八幡市立資料館（郷土資料館・歴史民俗資料館）	一般 300円	小・中学生 150円
・旧西川家住宅	一般 300円	小・中学生 150円
・かわらミュージアム	一般 300円	小・中学生 200円

※団体割引有ります。(10名様以上)

休館日：月曜日・祝祭日の翌日・年末年始。
ただし、観光シーズン5月末～6月、10月末～11月は休館日なしで開館しております。
(臨時休館の場合もありますので、事前にお問合せください。)

かわらミュージアム 指定管理者：株式会社 かんでんジョイナス
〒523-0821 近江八幡市多賀町738番地の2 TEL：0748-33-8567 Fax：0748-33-8722
開館時間▶9：00～17：00（入館は16：30）まで

近江八幡市立資料館（郷土資料館・歴史民俗資料館）、旧西川家住宅
〒523-0871 近江八幡市新町2丁目22 TEL：0748-32-7048 Fax：0748-32-7051
開館時間▶9：00～16：30（入館は16：00）まで

近江八幡100%味わえます!



- ÷ ようしうどん
- ÷ 近江牛どんぶり
- ÷ 近江牛カレー
- ÷ 丁字麩
- ÷ 赤こんにやく
- ÷ 丁稚羊羹



葎(シ)のシフォンケーキがおすすめです

café & shop
SHINMACHI

近江八幡市立資料館内

入館料はいりません。
文化伝承館（左義長会館）元新町警察署横よりお入りください!
営業時間：10：00～16：00
定休日：月曜日（観光シーズンは不定休）
〒523-0871 滋賀県近江八幡市新町2丁目 資料館内
カフェ&ショップ 新町 (Chief) 090-6247-0831
ギャラリースペース新町浜の姉妹店です



お誕生日・記念日 花束プレゼント (9月の方) 3名様

※必ずお誕生日を明記下さい

花王アタック1キロ8個入り (1ケース) 5名様

[トマトカード番号の記入をお願いします]

- * 世界の形象土器展 滋賀県立陶芸の森陶芸館 9月24日迄 20名様
 - * ガーデンミュージアム比叡 入場引換券 9月30日迄 50名様
 - * 再興 第103回 院展 京都高島屋7階グランドホール 10月1日迄 30名様
 - * 2018年秋季特別展 アメリカ古代文明 超自然へのまなざし 10月8日迄 50名様
- MIHO MUSEUM
- * 京都の御大礼 即位礼・大嘗祭と宮廷文化のみやび 10月8日迄 30名様
- 細見美術館

ご希望の方は郵便番号・住所・氏名・電話番号・希望の品一品をご記入の上、官製はがき又はFAXで下記販売所まで、ご応募下さい。抽選でお送りします。

締切 花束 8月31日迄 当選者の発表は発送をもって代えさせて
洗剤、チケット等 9月5日迄 頂きます。予めご了承ください。

〒523-0867 近江八幡市魚屋町元9 京都新聞近江八幡販売所 TEL 32-2743 FAX 32-3504

Sumire Lab.

すみれラボ ギャラリー部

◆ギャラリー概要

床面積/25㎡ 壁面積/21.9㎡(南西壁面のみ) 2方はガラス面、天井高2.7m
バックヤード/6.5㎡ ※その他設備(トイレ・流し台有)
設備・備品など/スポットライト、ダウンライト、壁面ピクチャーレール
音響、テーブル(展示台)8脚/椅子20脚/展示用ワイヤー20本 他

展示例です：イングリッシュブレッドフラワー展



ギャラリーは、白を基調とした空間で、安らぎとくつろぎを感じとれるように設計されています。照明設備、音響設備等も用意されており、様々な目的に対応できるようなスペースになっています。

◆ご利用範囲

絵画・陶芸・染織・ガラス・木工・写真等、美術作品等の展示会、小会議室にご利用下さい。

◆定休日 毎週月曜日

◆ご利用時間

原則として、午前10時～午後5時



※アクセス：近江八幡駅より徒歩7分
〒523-0894 滋賀県近江八幡市中村町20番地
(株式会社ダイゴ本社ビル1F) TEL0748-33-4181

貸しギャラリー 予約賜り中!

湖国の作家、アーティストを応援しています!お気軽にご相談ください。0748-33-4181 (中川まで)

ジャズ喫茶 YUGEYA

当店で蒸り高い珈琲と素敵なJAZZをお楽しみいただけます。
CD/LP盤3500枚とJBL4344スピーカーシステムで皆様のお越しをお待ちしております。また毎月2-3回のライブイベントも開催しております。

JBL

9月ライブご案内

近江八幡市堀上町314 Tel 0748-33-6941
www.yugeya-jazz.com Open: 1pm~7pm 月曜休店

Yugeya Professional Jazz Live! 2018

黒田雅之
豆福珍
大辻彩
福谷さち子

カクテル
2018.9.2 (日) start 17:00~
セッションあり

JAZZ & GULBY Cafe YUGEYA 近江八幡市堀上町314 TEL 0748-33-6941 http://www.yugeya-jazz.com

JAZZ CAFE Yugeya

FREE STANDARDS

河野康弘 トリオ
Live in 近江八幡

9/15 (土) 8pm
Charge 3,000円 (1ドリンク付)

JAZZ & GULBY Cafe YUGEYA 近江八幡市堀上町314 TEL 0748-33-6941 http://www.yugeya-jazz.com

Yugeya Professional Jazz Live! 2018

9/23 (日) 8pm

Ayaka
CDRライブツアー in 近江八幡

Charge 2,500円 (1ドリンク付)

JAZZ & GULBY Cafe YUGEYA 近江八幡市堀上町314 TEL 0748-33-6941 http://www.yugeya-jazz.com